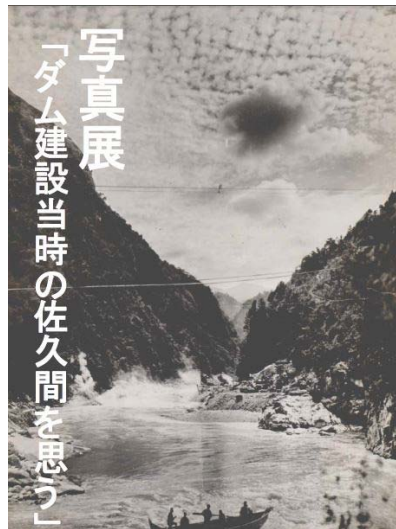


天竜川勉強会(第3回) ～天竜川とともに生きる～ 開催報告

浜松河川国道事務所は浜松市とともに平成29年8月29日(火)、佐久間歴史と民話の郷会館において「天竜川勉強会(第3回) ～天竜川とともに生きる～(第3回)」を開催し、約100名の方に参加していただきました。

勉強会は佐久間ダム完成60年を期に企画(第1回を昨年10月に開催)したもので、今回は一橋大学大学院 社会学研究科教授 町村敬志氏の講演を行いました。また、電源開発(株)のご協力により佐久間ダム建設当時の写真展示及び佐久間ダム堤体内見学会(定員40名)を開催いたしました。



- 講演では、佐久間ダム開発後の地域社会を研究された町村教授より「佐久間ダム完成60年後の佐久間を思う」と題して、佐久間ダムを研究テーマとした経緯から、建設当時佐久間地区がどのようにダム建設と向き合ったのかについて調査資料や、移転された住民の方々の記録などを交えながらお話ししていただきました。

また、建設当時からダムの堆砂による意見があったことなども紹介していただきました。

- 佐久間ダム建設当時の写真展では、当時の活気ある佐久間の街並みや人々の暮らし、情景を懐かしむ声が多くあがりました。
- 佐久間ダム堤体内見学会(参加者40名)では、普段見ることができないダム内部を見学させていただきました。



佐久間協働センター伊藤所長の
開会挨拶

【ダム堤体内見学会】



【写真展観覧の様子】



【町村教授の講演】



【会場内の様子】

